

第42回日本口腔インプラント学会学術大会

ポスター発表に参加する 「上顎中切歯部欠損修復の一例」

日時：平成24年9月21日(金)～24日(月)
場所：大阪国際会議場



藤原 康則 (京都府)

平成24年9月21日から24日まで大阪国際会議場で第42回日本口腔インプラント学会・学術大会が開催されました。

会員の先生方は専門医をめざして日々研鑽されていると思いますが、私もそのひとりです。ただこれまで学会の出席回数が満たず、さらに一度も発表の経験もないため、今年こそはと思い立って、このたびポスター発表をさせていただきました。

今回もCISJの会員の先生方は、一般口演、ポスター発表とも積極的に参加されていて、本会のパワーに圧倒されました。

さてポスターの内容ですが、私は「上顎中切歯部欠損修復の一例」というテーマで発表させていただきました。一昨年から九州の大村先生に弟子入りし、サブジンジバルカントゥアの調整による辺縁歯肉の形態修正をテーマにして臨床に取り組んでおりますが、その一部をお見せできたかと思えます。

発表は同じ時間に一度にあちこちはじまり、かなり大きな声で話さないと聞き取れなかったのではないかと感じました。私も5分間の発表後、声がかかるほどでした。

何とか発表もうまくいき、学会出席回数も満たされたので、来年早々に行われる専門医試験に臨みます。

